

“やさしい日本語でまち歩き(秋)”

10月22日(土) やさしい日本語でまち歩き(秋)を開催しました。今回は、九品仏で知られる浄真寺と宮本三郎記念美術館を訪ねました。

まずは、九品仏まちづくりセンターに集合しました。奥沢地誌保存会の代表をされている”染野和夫氏“から浄真寺についてお話を伺いました。浄真寺の歴史や九品仏の名前の由来などをやさしい日本語で丁寧に説明していただきました。



参加者は29名、外国人の方、日本人の方がおよそ半々。これぞ、やさしい日本語でコミュニケーションを実践する場です。これより、4つの班に分かれて浄真寺に向かいます。



境内で、閻魔様の声を聞いたり、染野氏と一緒に奥沢城の面影がわかる土塁の跡を見たり、阿弥陀如来像を拝観しました。

現在、20年もかけて9品の阿弥陀如来像は1品ずつ修繕されている最中で、8品の阿弥陀如来像に会えました。右の写真は、中央にいらっしゃるはずの阿弥陀如来像が修繕中で映っていません。



参加された外国人の方たちの中には、日本語が非常に堪能な方、日本語の勉強を始めたばかりの方など様々で、しかも初対面です。このような時に役に立つのが“やさしい日本語”。今見たばかりの九品仏のこと、趣味のことなど楽しく話しつつ、宮本三郎記念美術館へ向かいました。今日の展示は、“宮本三郎と「日本」”です。



美術館職員の方から、美術館の概要、宮本三郎とはという説明を伺った後は、自由鑑賞です。

宮本三郎が、戦前、戦中、戦後を通して描いた「日本」を鑑賞し、無事、まち歩きは終了しました。